



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

第 333 号

令和6年12月23日発行

学 校
ホー ム
ペー ジ
→



新たな価値付けが、適切な行動を呼ぶ ～何者にも変われる子供たち～ 校長 須藤 泰司

今年一年間の話題を取り上げる番組が多く、令和6年がもうすぐ終わることを感じます。師走の名の通り、忙しく走ってきた感のある12月。生徒、保護者、地域の皆様からも今年度を振り返った声が寄せられています。夏の全国大会出場、創立初となる男子駅伝の県3位入賞・北信越大会初出場、私の主張大会・柏崎代表・県大会出場、県ジュニア展・特賞、社会を明るくする運動作文コンクール・県優秀賞、税の作文・人権作文の入賞、新潟教育アート展・写真 CG 部門グランプリと、文武両道の素晴らしい成果を上げた一年でした。躍動する姿、能力の発露、生徒たちの活躍に眩耀たる一年でした。先日、三中・同窓会役員会があり、一年間を振り返ってお伝えしたところ、「後輩たちの活躍が誇らしいし、とてもうれしい。元気をもらった!」と、誉めていただきました。そのお言葉通り、生徒たちに伝えたいと思います。次年度に向けて三中教育をさらにより良いものにすべく、教育活動を創造してまいります。

12月は日々の生活を振り返る月と位置付けています。12/5～12/11を「充実した自分時間作り・チャレンジウィーク」と定め、生徒が自分の時間の使い方を振り返る、三中校区共通の取組です。ゲーム、メディア(動画、SNS等)に没入し、学習時間はおろか、睡眠時間も削って夢中になってしまう、そのため日中はぼーっとして授業に集中できない、落ち着きがなくなりイライラしてしまう等、今の小中高校生の実態があります。しかし、「やるな、取り上げるぞ!」ではなく、「その時間でできる、充実した自分時間を作ってみよう!」というプラスの声掛けで、取組を行いました。実践した生徒たちの実例を紹介します。各文の前に、↓ を付けてお読みください。良い成果があったようです!

「ゲームやメディアをする代わりに…」

- ・ 読書をするのが楽しかった。
- ・ 趣味のギターができる時間が増えて、少し楽しかった。
- ・ 勉強をすることができたし、音楽でリフレッシュできたので良かった。
- ・ 友達と遊んだり、部活の自主練をしたりしたら、暇だと思いう時間が無くなった。
- ・ 久しぶりに親とカードゲームができてよかった。これからもカードゲームと読書は続けたい。

私は、読書に挑戦しました。そのうちの2冊を紹介します。

「子どもたちは夜と遊ぶ」 辻村 深月

双子の兄弟が主人公。親を失い、それぞれが別々の人生を歩む。しかしどちらも壮絶ないじめや虐待を受けてその生活から必死に逃れようと血を吐く思いで生きてきた。大学生になった弟・浅葱(あさぎ)は、分かり合えるのは生き別れた兄・藍(あい)だけだ、と再会を切望する。二人が近づこうとするたびに人が死んでいく。しまいには、身近な人たちも一人、また一人と…最後に大きな謎が解ける…

壮絶な虐待や殺人と、出てくることは非日常なのですが、浅葱と藍が陥る、こんな青年を育てた社会が空想ではなく、今の現実社会の問題として心に刺さります。本人だけのせいにはできないやるせなさ。しかし、そんな人たちを救えるのは、誰に対しても優しく誠実な人物である、というところが心に染みていきます。とにかく、ページをめくると楽しくなる一冊。



「逆ソクラテス」 伊坂 幸太郎

小学生の語り口で書かれた、伊坂作品にしては珍しい小説。5つの独立した短編ながら、読み解くと成長した主人公同士が、不思議にからみあっているという、そこはいつもの伊坂ワールド。最高の出来栄です。

自分を落ちこぼれだと、さげすむ草壁君。草壁君がテストでたまに良い点を取っても「草壁、頑張ったな!」という言葉ではなく「問題が易すぎたようだな」という久留米先生。先生はどうやら、「草壁は何をやってもダメな奴だ」と決めつけているよう。少し見下した態度・発言は学級の児童に大きな影響を与え、周りの子も草壁君を見下した目で見ると、草壁君は自信を失い「自分はダメな奴だ」と自分で言うような子でした。しかし、安斎君は「敵は先入観だ!」と、大人である久留米先生の価値観を逆転させる、すごい作戦を展開します。大人でも間違いは間違いだ!といわんばかりの小学生の挑戦に、胸がすっとなります。さて、草壁君はどんな大人になるのか、乞うご期待!ぜひ、中学生にも読んで欲しい一冊です(図書室に有ります)。



タイトルに魅かれた、逆ソクラテス。教師とは、いかに子供たちにとって重要な存在であるかを思い知る、良い機会でした。子供たちだって、いろんな物事を抱えながらも、精一杯生きている。「今日もよく来たね」という一言。失敗しても「次はできる。もう一度やってみよう!」という一言。言葉から発せられる熱や温かさを私たち教職員は大切にしていかなければなりません。令和7年も三中教職員一同がんばります。皆様、どうぞ良い年をお過ごしください。

人権教育強調期間



毎年12月上旬は法務省が定めた「人権週間」となっています。

これに合わせて、第三中学校では例年11月下旬から12月上旬を「人権教育強調期間」として、授業、講演会などを通じて「自分も他の人も大切にする」人権意識向上を目指して取り組んでいます。一部を紹介します。

同和問題を考える授業

新潟県同和教育研究会が作成した副読本「生きるIV」を使用して、同和問題に関わる学習を進めました。各学年3時間の授業を行い、同和問題についての正しい理解を深め、差別に対する不合理さに気づき、差別解決に向けた取組について考えました。

人権に関する講演会

<1年生>

11月28日に人権擁護委員の泉徹也様をお迎えして、「友達との関係」「勇気」をテーマに講演会を行いました。アンパンマンの話題など、わかりやすい題材でお話いただき、理解が深まりました。

<2年生>

12月19日に学校運営協議会委員の持田千恵子様より戦争体験についての講話をいただきました。持田様が実際に体験された長岡空襲の悲惨さから、戦争の愚かさについて生徒に訴えかけていただきました。

1月10日には広島から講師をお呼びして、被爆体験伝承講話を実施します。

<3年生>

12月4日に新潟産業大学の蓮池薫様をお迎えして、「拉致問題と人権」をテーマに講演会を行いました。生徒は「拉致」という卑劣な行為への怒りをもちながら、自分たちができることを真剣に考えました。



<<三中生の活躍！>>

北信越中学校駅伝競走大会(11/30) 第23位

1区 柳 2区 小熊 3区 泉
4区 壘 5区 大瀧 6区 市川

駅伝部は、長野市営陸上競技場をメイン会場として行われた北信越大会に出場しました。当日は晴天に恵まれ、絶好のコンディションで行われました。強豪がひしめく中、選手は自分たちの持っている力を出し切りました。



第20回新潟教育アート展

写真・CG部門 グランプリ 古井丸 平面部門 優秀賞 歌代



第53回柏崎市刈羽郡小・中学生美術展

入賞	小山	赤澤	永井	三上	佐々木	佐藤	大久保	池嶋
	歌代	大塚	持田	山浦	阿部	舟山	松木	湯本
	池田	石田	畠山	古井				

=これからの予定=

<1月> 1日(水) 元日 閉庁日(～1/3) 6日(月) 口座引落日 8日(水) 休業後集会 マインドチェック 3年面接練習 10日(金) 2年平和講話・2年学年保護者会 14日(火) 1,2年PTA役員選考会 15日(水) 生徒朝会(委嘱式) 15日(水) 3年面接練習 鳴海会リーダー研修会 16日(木) 生徒総会学級審議 16日(木) 校内書初め展示(～1/31) 17日(金) 鳴海会リーダー研修会 英語検定	1	20日(月) 21日(火) 22日(水) 23日(木) 24日(金) 27日(月) 28日(火) 30日(木) 31日(金)	代議員会 全校朝会 3年三者面談 3年三者面談 鳴海会リーダー研修会 3年三者面談 鳴海会 入学説明会・体験入学 部活動休止(～1/31) 質問教室 質問教室 定期テストⅣ 定期テストⅣ 県立特別支援学校高等部選考日
--	----------	--	---

